

1 中間見直しの必要性

- 2021年12月に東三河ビジョン協議会が策定した「東三河振興ビジョン2030」（以下、「ビジョン」という。）に基づき、めざす地域の姿の実現に向け、東三河の地域づくりの主体（県、市町村、経済団体、大学、NPO、住民等）が連携・協働して様々な施策に取り組んでいる。
- ビジョンの計画期間は2022年度～2030年度（9年間）であり、**5年目である2026年度に社会環境の変化への対応と進捗状況の振り返りを行うため、ビジョンに位置付けられている中間見直しを行うこととする。**

2 中間見直しの方向性

ビジョンの目標年度である2030年度に向け、計画期間後半の具体的な取組や進捗管理指標を整理・追加する

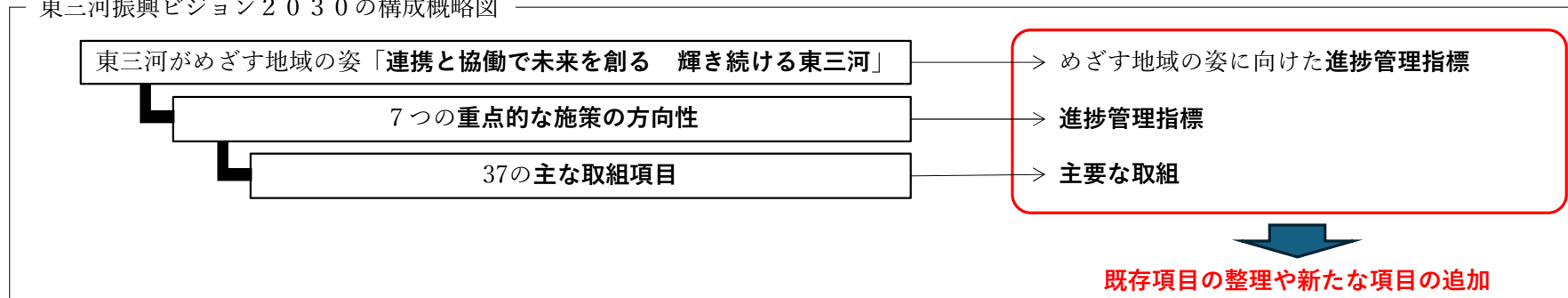


「東三河振興ビジョン2030 後半の取組」を策定する

（背景及び理由）

- 現行のビジョンは、「**連携と協働で未来を創る 輝き続ける東三河**」をめざす地域の姿を包括するキャッチフレーズとし、その実現に向け、7つの**重点的な施策の方向性**と施策ごとの**主な取組項目**を定めた上、**主要な取組、進捗管理指標**を設けている。
- ビジョン策定後の社会環境は、人口減少が続く中、物価高騰により経済情勢の厳しさが増しているものの、大きな枠組みの変更を要するものではなく、計画期間の後半においても、連携と協働で将来に向けた取組を地域が一体となって進めていくことが重要である。
⇒ **ビジョンのキャッチフレーズや重点的な施策の方向性、主な取組項目については引き続き推進する必要がある。**
- 一方で、ビジョン策定から4年が経過し、その間の情報通信技術の発展や、今後のアジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催を通じた地域の一体感の高まりへの期待など、ビジョン策定後の技術や施策の進展を踏まえる必要がある。
⇒ **個別具体的な内容として設定した主要な取組、進捗管理指標については、これまでの取組状況を踏まえた既存項目の整理や新たな項目の追加などを行う必要がある。**

東三河振興ビジョン2030の構成概略図



3 既存項目の整理や新たな項目の追加

(1) めざす地域の姿に向けた進捗管理指標

- 目標の達成状況や他計画との関連などを確認し、現行の目標の妥当性を整理した上で、必要に応じて新たな目標を設定
- 2026年度までに策定することとしている2つの進捗管理指標の目標を設定

(2) 進捗管理指標

- 目標の達成状況や他計画との関連を確認し、現行の指標や目標の妥当性を整理した上で、必要に応じて新たな指標や目標を設定

(3) 主要な取組

- 社会環境の変化や他計画との関連などを確認し、内容の整理及び追加

(参考) ビジョン「後半の取組」における整理・追加の対象について

	主な取組項目 の数	主要な取組 の数	進捗管理指標 の数
めざす地域の姿に向けた進捗管理指標	—	—	5
重点的な施策の方向性	37	187	30
1 豊かな暮らしを実現する地域づくり	5	19	4
2 誰もが活躍できる地域づくり	6	32	5
3 環境の保全・再生	5	16	5
4 地域の魅力の創造と活力の創出	4	26	4
5 地域産業の革新展開	7	45	6
6 地域を支える社会基盤の整備	5	30	5
7 多様な連携による地域力の向上	5	19	1

※ 赤枠の内容が整理・追加の対象

めざす地域の姿に向けた進捗管理指標

指標名	現状（ビジョン策定時）
東三河地域の転出入超過数 【目標】半減（▲800人）（2030年）	▲1,676人（転出超過） （2020年）
東三河地域の住民一人当たりの総生産額 【目標】555.9万円（2030年度）	475.1万円 （2018年度）
東三河地域のSDGsの理解度 【目標】50%を上回る（2030年度）	38.9% （2021年度）
東三河地域のめざす地域の姿に向けた新たな指標 （定性的なもの） ➡ 東三河地域住民の幸福感 【目標】策定（～2026年度）	—
東三河振興ビジョン2030の認知度 【目標】策定（～2026年度）	—

状況に
応じた
目標の
見直し

目標の
設定

4 今後の東三河ビジョン協議会の開催スケジュール

2026年	7月	第1回ビジョン協議会	見直しの方向性と骨子案
	11月	第2回ビジョン協議会	中間とりまとめ
2027年	3月	第3回ビジョン協議会	後半の取組の決定

東三河振興ビジョン2030中間見直し 骨子（案）

1 タイトル

「東三河振興ビジョン2030 後半の取組」

めざす地域の姿の実現に向けて後半の取組を整理し、推進するもの。

2 主な内容

（1）後半の取組の策定について

- 背景・趣旨
- ビジョンの計画期間前半における取組の成果
 - ・ 主要な取組の成果
 - ・ 進捗管理指標の進捗状況
 - ・ 重点プロジェクトの成果
(2022年度重点プロジェクト、2024年度重点プロジェクト)
- ビジョン策定後の変化
 - ・ 主な社会環境の変化の例

人口減少の進行

物価高

情報通信技術の発展

各種プロジェクトの進展

など

- 中間見直しの方向性

（2）めざす地域の姿

- ビジョンにおいて2026年度までに策定することとしている
2つの進捗管理指標（※）の目標値の設定等
（※）①「住民の幸福感」（2025年度のビジョン協議会において決定済）
②「東三河振興ビジョン2030の認知度」

（3）重点的な施策の方向性

- 各施策において主要な取組及び進捗管理指標の整理・追加

（4）後半の取組の推進方法等